

2023

9

September
No. 367

広報



祝 三島町二十歳を祝う会

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

～明るい未来へ～

※詳しくは広報3ページに記載

三島町「二十歳を祝う会」



▲ 左より石田浩美先生（小学校恩師）、二瓶良都さん、星日代里さん、中丸みちるさん、小平梨々花さん、小柴咲紀さん、柴崎仁志先生（中学校恩師）



▲ 思い出話で盛り上がる参加者の皆さん

氏 名	地 区
① 片山心路	桧原
② 小柴咲紀	名入
③ 小平梨々花	西方
④ 齋藤 樹	宮下
⑤ 高橋 春菜	宮下
⑥ 中丸みちる	宮下
⑦ 星日代里	西方
⑧ 細堀 玄	宮下
⑨ 二瓶良都	西方
⑩ 大塚 愛	宮下

令和五年度二十歳を祝う会対象者



六年生の時に埋めたタイムカプセルを開ける様子

「三島町二十歳を祝う会」は、8月13日に三島町交流センター山びこで行われ、対象者10人のうち5人が出席しました。

矢澤源成町長から、今回出席した5名に「二十歳の記念証」が手渡され、「目標と挑戦によって人生を前進させてほしい」とお祝いのことが贈られた後、お招きした2人の恩師からは、懐かしいエピソードを交えたメッセージをいただき、その後、一人ひとりが「地元に貢献できるよう努力する」など「二十歳の誓い」を述べました。

終了後、森の校舎カタクリにて祝賀会を行い、恩師や同級生と懐かしい思い出話に花を咲かせていました。

令和五年度 二十歳を祝う会

ふくしま三大鶏フェスin美坂高原



会場の様子

ふくしま三大鶏フェス開催

7月29日に美坂高原で福島県三大鶏とされている伊達市の「伊達鶏」、川俣町の「川俣シャモ」、そして当町を代表する特産品である「会津地鶏」を一度に味わえる「ふくしま三大鶏フェスin三島町 美坂高原」を開催しました。当日は約二千人の方が来場され、三大鶏の魅力を生かした焼き鳥や唐揚げなどの定番グルメを堪能されました。会場では、音楽ライブや霊山太鼓（伊達市）、フォルクロレ（川俣町）、三島太神楽（三島町）が披露され会場を盛り上げました。またフェスと併せてキャンプも行われ、美坂高原の星空や大自然を楽しんでいる方も多くいました。



チキンレースに参加された皆さん

大好評だったチキンレース

当町の会津地鶏や川俣シャモ、伊達鶏が景品となったチキンレースは、当日受付にもかかわらず多くの方が参加されました。午前は大人の部、午後は子どもの部として2部構成で行われ、鶏の着ぐるみを着てゴールに向かって全力で美坂高原を走り抜きました。

また、じゃんけん大会も行われ、最後まで勝ち残った方には、三大鶏にちなんだ景品がプレゼントされました。多くの方に参加していただき、盛り上がりま

みさかDEあそぼ！



プールで遊ぶ子ども達

美坂高原利活用事業

8月11日・12日に美坂高原利活用事業の一環で「みさかDEあそぼ！」が開催されました。町民の方の利用機会が減少している美坂高原ですが、お盆前の2日間、町民や帰省された方向けに美坂高原を開放し、児童向けプールやテントサウナ、流しそうめんなどが設置され、家族連れの方々など多くの方が夏の美坂高原を楽しみました。



ナイトシアターの様子



流しそうめん

今後も美坂高原の新たな魅力を発見し、その価値を多くの方々に知ってもらえるよう、積極的に活用していく予定です。9月16日には、国立天文台上席教授の渡部潤一先生（会津若松市出身）を迎え「スターウォッチングツアー」を開催いたしますので、ご家族やお友達お誘いあわせの上、ぜひご来場ください。

固定資産評価審査委員に 佐久間宗一さんを選任

町議会6月定例会において、佐久間宗一さん（宮下）が固定資産評価審査委員会委員に選任されました。任期は、令和5年7月1日から3年間です。固定資産評価審査委員会は、固定資産課税台帳に登録された価格に対する納税者からの不服を審査決定するために設置された第三者機関です。現在、佐久間さんの他に目黒忠昭さん（滝谷）と飯塚国英さん（大石田）が委員として活動しています。



▲選任書を手にする佐久間宗一さん

三島町農業委員会会長に 二瓶辰雄さんを選任

7月21日に町民センターにおいて三島町農業委員会7月総会が開催されました。7月20日から新たな任期を迎えることになるため、6月議会において任命され、矢澤町長から委員を代表して阿部通利委員（桧原、前会長）へ任命書を手渡されました。また、新たな農業委員会会長として二瓶辰雄委員（西方）が選任され、新体制が発足しました。



▲任命書を受け取る阿部通利前会長

地域スポーツ大会会津地域大会

8月6日に会津美里町を会場に地域スポーツ大会会津地域大会が開催されました。三島町は壮年ソフトボールと家庭バレーボールに出場しました。「家庭バレーボールみしま」は、予選を2勝1敗と好成績を残しましたが、セット率の差で惜しくも決勝進出は叶わず、同率3位となりました。

「三島壮年ソフトボール」は、「猪苗代町スポーツ協会」と対戦し奮闘しましたが、強打に屈し1回戦敗退となりました。



▲三島壮年ソフトボールクラブの皆さん



▲家庭バレーボールみしまの皆さん

熱戦！地区対抗ソフトボール大会

8月14日にお盆恒例の地区対抗ソフトボール大会が町民運動場で開催され、宮下、大谷、滝谷、西方の4地区が参加しました。お盆休みで帰省した方々も多く参加され、炎天の下でしたが、和気あいあいと楽しくプレーしていました。優勝は西方地区で、高い打撃力により得点を重ねました。

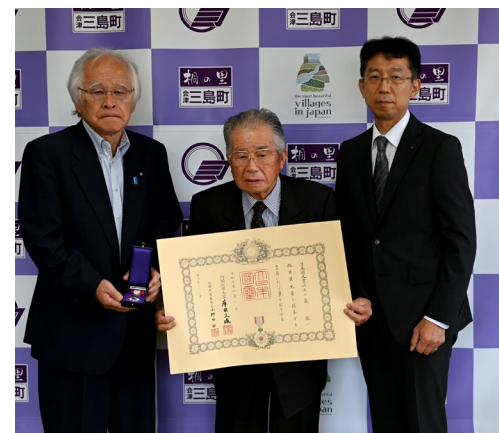


▲優勝した西方地区の皆さん

令和5年度春の叙勲 五十嵐敏さんに「旭日単光章」

五十嵐敏さん（大石田）が令和5年春の叙勲において「旭日単光章」を受賞され、8月1日に本田伸雄会津地方振興局長から伝達されました。

平成4年に三島町議員に初当選後、平成8年からは副議長として3期、平成12年から議長として2期務められ、平成14年からは2年間両沼町村議会議長会長として、三島町だけでなく両沼地区全体の課題解決のため尽力されました。



▲左より矢澤町長、五十嵐さん、本田局長

三島町Aチーム（滝谷地区）優勝！ 三島町Bチーム（大石田地区）準優勝！ 五町村ゲートボール大会

7月24日、「すば一く柳津」で令和5年度五町村ゲートボール大会（会津坂下町、柳津町、三島町、金山町、昭和村）が開催され各町村代表チームによる激戦の結果、三島Aチーム（滝谷）が優勝、三島Bチーム（大石田）が準優勝の成績を収めました。

8月2日に、三島町ゲートボール協会の佐藤幸志会長（西方）と若林敏彦副会長（滝谷）が町長室を訪れ、矢澤町長に結果を報告しました。



▲表彰状を手にする佐藤幸志会長

宮下大膳広場

みしままちびあがーでん開催

8月5日に宮下地区大膳広場で「びあがーでん」が4年振りに開催されました。夕方から開催され、町民の方々をはじめ約100名を超える方々が来場され、生ビールとともに会津地鶏や当日出店された美味しい食べ物を堪能しました。

また、浴衣で参加した女性や子ども、宮下地区以外から来場された方には、「ワンドリンク」または「かき氷」がサービスされ、スイカ割りやビンゴ大会に多くの方が参加し、楽しいひと時を過ごしました。



▲スイカ割り



▲ビアガーデン会場の様子

ボランティア「こぶし」の会「花いっぱい」活動報告(6月18日) 佐久間 絹江さん(滝原)

国道252号線の滝原地区入口の待避所と林業センター(集会所)前から早戸方面に向かって、コスモスの苗の植え付けと種まきを行いました。林業センター周辺は、昨年咲いたコスモスの種がこぼれ落ち、いい具合に芽を出していたのでそれらを活用し、待避所周辺には、去年の秋に収穫した種をまきました。猛暑にもかかわらず、草だけは勢いよく生い茂り、役員が何度か機械での草刈りを行いました。7月30日には、会員総出で苗間の草刈りを行い、草の間で見え隠れしていたコスモスもスッキリと可憐な花をのぞかせ始めました。本格的な秋風が吹く頃には、満開のコスモスが国道脇を彩り、道行く人々を楽しませてくれることでしょう。



人足としめ縄作り(7月2日) 佐久間 絹江さん(滝原)

春の人足に続き、今年度2回目の人足が行われました。生い茂った草木を刈り取り、整備された農道や林道は、これから出沒が予想される獣たちの行動抑制となることを願います。また、昨年度より行われている、駒形神社に奉納されるしめ縄作りも行われ、立派なしめ縄が撚りあげられました。



土用のおこもり(7月20日) 佐久間 絹江さん(滝原)

立秋の直前が土用にあたり、季節の変わり目で体調を崩しやすい時期となります。土用のおこもりは、先人たちが今に残してくれた養生方法でもあり、村人たちが神社に一堂に会し、楽しく飲食を共にし、親睦を深める場となっています。昔は夜通し行われていたようですが、現在は、日が暮れた頃に参集し、御神酒とつまみで談笑し、短い時間で散会しています。



春日神社境内清掃作業(7月23日) 阿部 和彦さん(桧原)

早朝6時、桧原地区の春日神社境内において神社総代と桧原地区役員の10名でお盆前の清掃作業が行われました。春の地区内清掃作業の際に伐採し、乾燥させて置いた樹木や枯れ枝を軽トラックに積み込み、薪として利用するため3台分を運びました。運搬作業は約1時間で最後はきれいに整地し、終了しました。関係者の皆さまのおかげで美しい景観が保たれています。さわやかな気分でお盆を迎えることができました。ありがとうございました。



奥会津7町村文化施設間連携企画展

「奥会津の縄文」開催セレモニー

7月21日に交流センター山びこにおいて奥会津7町村文化施設間連携企画展「奥会津の縄文」のオープニングセレモニーが行われました。7月22日より、奥会津地域の7町村(柳津町、三島町、金山町、昭和村、只見町、南会津町、檜枝岐村)の文化施設が連携し、奥会津の縄文文化を紹介する企画展「奥会津の縄文」を開催しています。

三島町では交流センター山びこにて開催されており、荒屋敷遺跡の発掘当時の映像や貴重な出土品が展示されていますので、ぜひご来場ください。なお開催期間は、三島町は10月1日まで、他6町村は11月上旬頃までとなっています。



▲ 出土品を見学する矢澤町長

コロナ乗り越え入湯者数100万人到達!

早戸温泉つるの湯

8月6日に早戸温泉つるの湯の入湯者数が100万人に到達し、記念セレモニーが行われました。矢澤町長をはじめ、早戸温泉つるの湯企業組合の方々喜びを分かち合いました。記念すべき100万人目となられたのは、栃木県からJR只見線を見るためにお越しになられた三浦誠司さんと、矢澤町長から会津桐タンス(株)製の「会津桐の米びつ」が記念品として贈呈されました。企業組合の佐久間源一郎代表理事は「これからも癒しとくつろぎの場を提供していきたい」と話していました。



▲ 三浦ご夫妻(中央)と関係者の皆さん

会津を開発し商工観光を伸ばす

第55回全会津商工観光推進大会

8月9日に交流センター山びこにおいて、会津地方商工観光団体協議会主催の第55回全会津商工観光推進大会が行われました。佐藤宏隆福島県副知事をはじめ地元選出の国会議員及び県議会議員や会津方部の各市町村、各商工会等の会員の方々130名が参加しました。三島町商工会の五十嵐健二会長(宮下)が会津を開発し商工観光を伸ばすための要望提案について説明し、全ての要望事項が採択されました。これをもとに、会津地方商工観光団体協議会は、今後、国や県に対して要望活動を実施していきます。



▲ 要望提案書を説明する五十嵐健二会長

三島町教育委員会より

福島県市町村教育委員会連絡協議会会津ブロック研修会



▲ 山ぶどうストラップ製作体験の様子

7月25日、福島県市町村教育委員会連絡協議会会津ブロック研修会が交流センター山びこで開催されました。はじめに、矢澤町長が祝辞を述べられ、次に川合正裕山びこ所長が「三島町の縄文時代～数千年前のものづくり～」と題して講演し、縄文展の見学もしていただきました。発掘当時の映像や編み組品の出土品などに多くの方が興味を惹かれていました。その後、三島町の伝統工芸品である編み組細工「山ぶどうストラップ」の製作体験を生活工芸館編み組細工指導員のもと行いました。

本研修をとおして、文化財の保存や活用、伝統的工芸品の継承のあり方についても学ぶ機会としていただきました。

令和5年度町教職員「保・小・中きずなプラン」夏季研修会を開催



▲ 研修会の様子

8月4日、交流センター山びこにおいて、三島町教職員「保・小・中きずなプラン」夏季研修会が開催され、町外の教育関係者も含め計約50人が参加しました。今回は、京都教育大学附属桃山小学校の若松俊介主幹教諭をお招きし、『「主体的に学び続ける子」を育て、支えるための授業・学級づくり～教師の役割、在り方を問い直す～」と題し、ご講演いただきました。講演中には簡単なワークショップも行われ、課題の共有と教師の役割について都度、参加者同士で熱心に話し合われてました。

ご寄附ありがとうございます

故 佐藤村夫様のご遺族より町へご寄附いただきました



▲ 左から矢澤町長、大木修さん、恵美さん

8月17日に、(故)佐藤村夫様のご遺族である大木修・恵美様ご夫妻が来庁され、故人のご遺志によるご寄附を頂きました。

故人である佐藤村夫様は、宮下小学校校長を定年退職後、教職の経験を生かし、長きにわたり教育委員や教育委員長として、町教育行政の充実・発展のために貢献されました。

寄附金は町教育行政のために大切にに使わせて頂きます。



町民記者通信

早戸温泉周辺の草刈りを実施（7月30日）

橋本 光五郎さん（早戸）

午前6時から早戸・滝原地区の住民が協働で、つるの湯周辺及び早戸温泉遊歩道の草刈りを実施しました。つるの湯の駐車場に集合し、作業の安全確保について確認しあった後、それぞれの持ち場に分かれて草刈り作業に取り掛かりました。作業箇所は例年通り、つるの湯から温泉神社周辺までと、早戸温泉遊歩道入口から遊歩道中間地点の平場までです。今年は草刈りの「新兵器」も登場し、予定時間内に作業を順調に終える事ができました。草刈りをして歩きやすくなった温泉神社・早戸温泉遊歩道を散策する観光客が増えることを期待したいと思います。



盛夏の風物詩「お盆櫓踊り」（8月13日）

目黒 民一さん（滝谷）

滝谷地区の「お盆櫓踊り」が滝谷集会所前広場で行われました。新型コロナウイルスの影響により、4年ぶりの開催となりましたが、地区や帰省の人達にも夏の風物詩としてすっかり定着した感じがします。今年は、例年になく猛暑が続いていますが、この日もまた夕陽が西の空を真赤に染めていました。墓参りが済んで、迎え火を焚く頃になると会場の櫓や提灯にも明かりが灯り、やがて若衆達の掛け声や爽快な祭囃子が響き渡ります。浴衣姿や法被に鉢巻姿の子ども達、また毎回、団体参加の地元婦人会の皆さんの仮装踊りは踊りの輪を一層盛り上げました。また、会場では有志による焼き鳥、生ビール等の出店も並び大賑わいでした。櫓と踊りの輪の一体感、そしてその熱気と歓声が響き合う中で、地元の人も帰省の人達もひと夜限りの櫓踊りを満喫していました。



東北運輸局福島運支局からのお知らせ

自動車点検整備推進運動

重点実施期間 令和5年9月～10月

長くご使用のクルマには、細やかなケアが必要です。定期点検を実施してクルマの不具合を減らしましょう。安全確保と環境保全には、クルマの点検整備が必要です。

問 国土交通省東北運輸局福島運輸支局

☎ 024 (546) 0342

福島県自動車適正使用推進協議会事務局

☎ 024 (546) 3451

中小企業の退職金 国の制度が サポートします。

- 中小企業退職金共済制度なら…
- 掛金の一部を国が助成します。
- 掛金は全額非課税。手数料も不要です。
- 外部積立型なので管理が簡単です。
- パートタイマーさんも加入できます。



お気軽にお問合せください

(独)勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋 1-24-1

TEL (03) 6907-1234 FAX (03) 5955-8211

虚血性心疾患

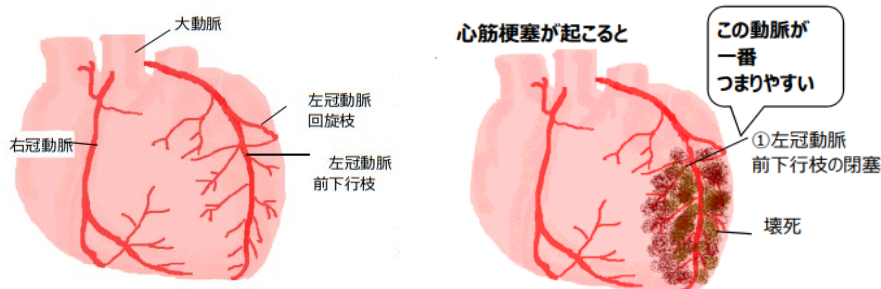
vol.83

健康で元気な毎日！

町民課保健福祉係 ☎ 48-5565



先月号で三島町では、虚血性心疾患の医療費が高いことをお伝えしました。今月号では、虚血性心疾患とはどんな病気なのかお伝えします。



心臓の血管は
どうなっているの？

心臓の血管は「冠動脈」といい、心臓に酸素と栄養を運んでいます。

虚血性心疾患って何？

冠動脈が何らかの原因で狭くなったり、詰まってしまい、心臓の細胞に血液が行きわたらないことを「**虚血**」といいます。虚血がおおると、その先の心臓の細胞が壊死して（死んで）しまい心臓の動きが悪くなります。これを『**虚血性心疾患**』といいます。壊死してしまった細胞はもとには戻りません。虚血性心疾患には心筋梗塞や狭心症といった病気があります。

虚血性心疾患にならないためには？

動脈硬化を予防することが大切です。健診の結果で血圧、血糖、LDL コレステロール、中性脂肪、尿酸値など異常があれば動脈硬化の原因となります。健診結果から日々の生活を見直していくことが大切です。

図書のご案内

町民センターゆめぽけっと

- 利用時間
①～⑤ 午前9時～午後9時
④⑤⑥ 午前9時～午後5時
- お休み
年末年始

☎ 公民館 ☎ (48) 5599

●今月のおすすめ

この夏の星を見る

著：辻村深月

コロナ禍による休校や緊急事態宣言、これまで誰も経験したことのない事態の中で大人たち以上に複雑な思いを抱える中高生たちの出会い。リモート会議を駆使して、全国で繋がっていく天文部の生徒たち。人間の感情のすべてがここにある。



●図書の紹介



不可能を可能にする
大谷翔平
120の思考

著：大谷翔平



おいしいごはんが
食べられますように

著：高瀬隼子



最高の体調

著：鈴木裕

地域おこし協力隊 活動誌

一難去ってまた一難

西田 星 弥

8月も酷暑が続き、9月も油断できないところではあります。今月のタイトルは「一難去ってまた一難」としました。これは、私が三島町に来ってから幾度となく感じたことわざですね。

場所はかなり離れますが、広島県安芸高田市の市長と議会に関連したニュースが話題となり、全国的に知られる所となりましたが、日本全国で共通する部分があると思っています。市のことを最優先に考え、改革を目指す市長の妨げになっているのが、民意によって選ばれている議員というなんとも日本らしい構図が露呈していますね。個人的には安芸高田市長に感化され、



様々な地方で進歩的な方が増えてくれば日本の将来が多少好転する気がしています。話が飛躍しましたが、三島町も5年、10年、20年先を考えると迎えています。1人でも多くの方が将来のために、未来を生きる子ども、若者たちのために険しい道を歩んでくれることを祈ります。

今月も大した画像はお見せできないので、別件で飛行機移動の際に撮影した空模様を掲載します。残暑もしばらくは続くようなので体調にはくれぐれもお気を付けください。

- ヒロロキーホルダー -



ヒロロキーホルダー

7月初旬に大宮駅での物販イベントで、新メニュー「ヒロロキーホルダー」が登場しました。都会の人に「縄ないを体験していただきたい」と考えておりましたが、今までのヒロロコースターは所要時間が2時間必要で町外イベントでの実施には向きませんでした。時間をもっと短くしたいと各所ご相談したところ、縄が短くて済む形やスマートな結び方などのアイデアをいただき、作成時間1時間ほどのヒロロキーホルダーが完成しました。その後も回を重ねるごとにちょっととしたアイデアを加えながら、進化し続けています。お世話になった皆様あ



大宮駅にて実施



完成後リュックへ



工芸館内で実施

りがとうございます。体験メニューを作っていく上ではどのような三島の文化を伝えるか、どのように楽しんでもらうかを軸に、場所や対象年齢を考慮した提案を行います。

お知らせ

9月16日④「スターウォッチングツアー」に工芸館の店として出店します。会津唐人凧づくり…700円、木製星型ペンダントづくり…500円の体験を実施いたします。

☎ 三島町生活工芸館 ☎ (48) 5502

生活工芸館ものづくり体験新メニュー登場

工芸館だより②⑧ ～ものづくりの伝承～

「第五次三島町振興計画」等を読むと、第一回国勢調査が行われた大正九年（一九二〇）から十年ごとの三島町の総人口が記載されています。大正九年が四五一八人、人口がピークに達した昭和二十五年（一九五〇）で七七二一人、令和二年

（二〇二〇）には一四五七人にまで減少しています。では、それ以前、江戸時代や明治時代には現在の三島町域にはどれだけの人が住んでいたのか、遺^②されていた資料を表にしたのが表1～6です（※）。

（※）江戸時代、現三島町域は滝谷組・大谷組・大石組に分かれていましたが（その構成村は表5を参照ください）、同一年に三つの組の人口がわかる資料はありませんでしたので、表1～4は各組で別年代のものとなります。

表1 寛文6年（1666）瀧谷組
（現三島町域）の戸数・人口
『瀧谷組風土記並金山谷寄』より

瀧谷組	戸数	人口 統計	男	女
瀧谷村	20	168	99	69
檜野原村	16	146	75	71
西方村	60	398	175	223
端村沼田	3	28	15	13
大石田村	40	275	154	121
端村中野	4	43	23	20
名入村	14	155	86	69
端村小山	5	52	29	23
端村高清水	7	83	44	39
端村飯岡	2	10	6	4
合 計	171	1358	706	652

表2 延宝9年（1681）瀧谷組
（現三島町域）の戸数・人口
『瀧谷組十五ヶ村高反別古記』より

瀧谷組	戸数	人口 統計	男	女
瀧谷村	25	166	97	69
檜原村	26	177	98	79
西方村	72	585	321	264
大石田村	42	338	187	151
名入村	37	300	155	145
合 計	202	1566	858	708

表3 文化3年（1806）大谷組
（現三島町域）の戸数・人口
『大谷組十六ヶ村銘細帳摘書』より

大谷組	戸数	人口 統計	男	女
大谷村	63	286	158	128
浅岐村	26	160	98	62
間方村	26	111	63	48
桑原村	22	113	56	57
宮下村	43	203	120	83
川井村	28	121	63	58
大登村	31	157	78	79
小野川原村	7	43	24	19
合 計	246	1194	660	534

表4 弘化2年（1845）大石組
（現三島町域）の戸数・人口
『大石組家数人別増減差引帳』より

大石組	戸数	人口 統計	男	女
早戸村	38	175	95	80
合 計	38	175	95	80

表5 明治4年（1871）現三島
町域内各村の戸数・人口
『若松県管轄人員録』より

第47区 大石組	戸数	人口 統計	男	女
早戸村	39	214	110	104
第49区 南大谷組	戸数	人口 統計	男	女
大谷村	57	291	154	137
浅岐村	29	151	89	62
間方村	29	158	79	79
桑ノ原村	25	122	61	61
宮ノ下村	49	274	141	133
川井村	28	160	77	83
大登村	29	163	87	76
小野川原村	6	31	13	18
第50組 瀧谷組	戸数	人口 統計	男	女
瀧谷村	40	216	116	100
檜原村	32	179	91	88
西方村	99	472	254	218
大石田村	55	329	173	156
名入村	79	373	185	188
合計	596	3133	1630	1503

表6 明治22年（1889）現三島
町域内各村の戸数・人口
『戸長役場位置其他』
（明治大正期福島県庁分署）より

戸長 役場 位置	所轄町村	戸数	人口
宮下村	宮下村	52	285
	川井村	30	192
	名入村	67	410
	西方村	98	551
	大石田村	55	356
	早戸村	41	231
	檜原村	37	238
	瀧谷村	40	229
	大登村	35	220
	大谷村	59	329
	浅岐村	28	173
	間方村	31	154
	桑原村	24	140
	総計	597	3508

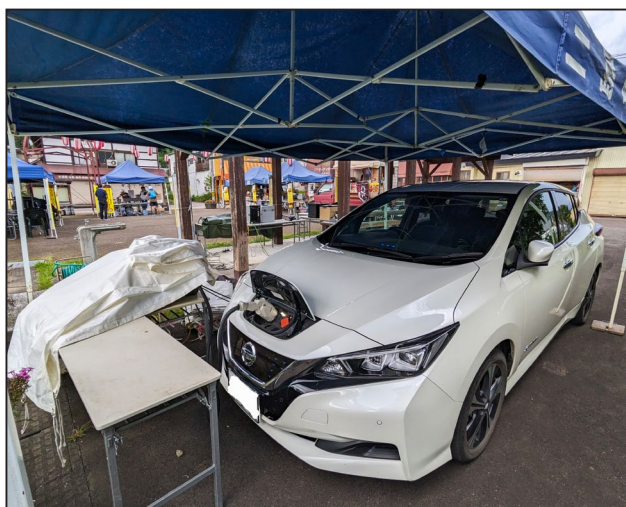
地域循環コラム 第15回

～ 続・電気自動車からの電力供給について ～

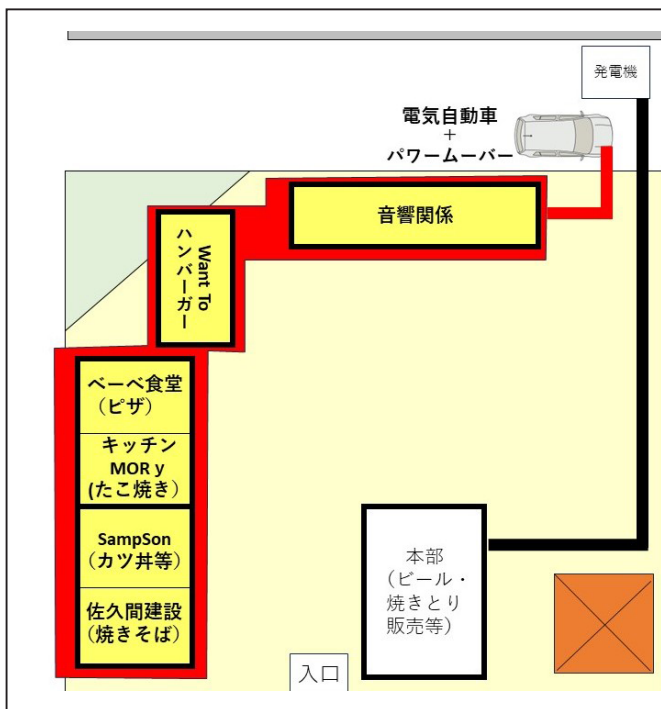
8月5日④に宮下大善広場で「第6回 みしままち びあがーでん」が開催されました。今回は、「三島小学校向かいの菜の花畑ライトアップ」や「美坂高原マルシェ」と同様、福島日産自動車（株）さんのご協力のもと電気自動車を使用した電力供給を行いましたので、そちらを振り返りたいと思います。

① 会場の半分以上に対して電力供給

今回、右図の赤色で囲んでいる箇所（本部テント以外の電飾や音響システム、各出店者の電気調理機）を対象に会場の半分以上の電力を電気自動車（日産「リーフ」）で供給することを試みました。



▲ 電力を供給する日産リーフ



▲ 会場（宮下大善広場）のレイアウト

② 性能上は十分しかし課題も・・・

今回の電気自動車で電力を供給することになった対象機器は右表のとおりで、必要となる電力は3,500W^{ワット}程となります。対する今回の日産リーフの電力供給能力は、1口1,500W出力できる電源が計3口あるため合計出力は4,500W。また、バッテリーが40,000Wh^{ワットアワー}搭載されているため、右表の機器に対して供給する場合であれば約11時間を継続して供給できることになり、性能としては十分です。

しかし、実際には性能どおりの供給とはいきませんでした。右表の1,400Wのフライヤーが十分に温度を上げることができず、この機器に対してだけは最終的に発電機を使用することになりました。電気自動車の問題か、あるいは電気自動車から電気を取り出す設備（パワームーバー）の問題か…、その他の機器には供給できたこともあり、原因が不明確なところがありますが、今回の件も考慮しつつ引き続き最適な構成を探るために実用を重ねていければと思います。

<電力供給の対象機器一覧>

電力供給した機器	必要な電力
音響システム	100W程度
電飾全体	100W程度
ピザ窯(ガス式)	100W
保温庫	600W
フライヤー (SampSon)	1,200W
フライヤー (Want To)	1,400W

【 地域おこし協力隊 ^{やまもとたかはる} 山本敬晴 】

福島地方法務局からのお知らせ

自筆証書遺言書補完制度

・相続登記の申請義務化に関する説明会

法務局職員が講師となって「自筆証書遺言書を法務局で保管する制度」や「相続登記の申請義務化」について説明会を開催します。

福島地方法務局を拠点として相馬・郡山・白河・会津若松・いわきにある法務局を Web 会議システムを利用して中継しますので、遠方の方でも参加可能です。事前予約が必要ですが、参加は無料となっていますので、ぜひご参加ください。

【説明内容】

- ・相続と遺言書の基礎知識
- ・自筆証書遺言書補完制度
- ・相続登記の申請義務化
- ・質疑応答

【日 程】9月12日㊥

【時 間】10:00～11:00

【申込方法】福島地方法務局供託課へ電話で申込み



☎福島地方法務局供託課 ☎ 024-(534)-1971

司法書士による成年後見相談会のお知らせ

【相談内容】 高齢者・障がい者に関わる法律問題、成年後見、遺言、相続、登記等

【日 時】 10月21日㊤
13:30～16:00

【会 場】 会津稽古堂（生涯学習総合センター）

【申込方法】 福島県司法書士会
（公社）成年後見センター・リーガルサポートふくしま支部へ電話で申込み

【電話受付時間】 10:00～12:30 13:30～16:00

☎福島県司法書士会（公社）成年後見センター
・リーガルサポートふくしま支部
☎ 0120-81-5539

ふくしま生活・応援センター

無料就職相談窓口からのご案内

★就職相談・職業紹介

（窓口相談 出張相談 電話・メール・オンライン相談）

★各種セミナー・職業訓練情報

※応募書類作成や求人検索に使えるパソコンあり

★完全予約制で落ち着いた環境で相談ができます。

（専任相談員男女1名ずつ在籍）

★毎週月曜から土曜日の10時から19時まで開館しています。

【住 所】 会津若松市南千石町 6-5
会津若松商工会議所 2 階

【メール】 info-ouena@pasona.co.jp



詳しい内容は上 OR コードから



メールアドレス

☎ふくしま生活・就職応援センター 会津若松事務所
☎ 0242-(27)-8258

福島労働委員会からのお知らせ

「労働お困りごと相談窓口」の案内

賃金未払い、解雇、退職などの労使間トラブルに関する困りごとや疑問についての相談をお受けします。相談は無料で秘密は厳守します。

相談は、平日の面談や電話での相談のほか、電子メールで随時受け付けています。お気軽にご相談ください。

【相談方法】

・来所 福島市中町8番2号 県自治会館4階

・電話 024-521-7594

・電子メール ホームページより受付

【相談受付時間】

・電話、来所（8:30～12:00 13:00～17:00）

・電子メール（随時）

☎福島県労働委員会事務所 福島市中町8-2 自治会館4階
☎ (52) 2321

環境研だより 第62回

脱炭素につながる地域独自の新しい暮らし方 Part2



三島町のみなさまこんにちは。今回は以前にもご紹介した、脱炭素社会への実現に向けた身近な取り組みとして環境省が勧めている「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の特集についてご紹介します。

環境省では2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向けて、国民のライフスタイル変革を後押しするための新しい国民運動を展開しており、今回はその中の「地域独自の暮らし方で後押し」の項目から、以前紹介できなかった全国各地域の取り組みについてご紹介していきます。

ちなみに、この「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」は愛称を公募しまして、脱炭素を意味する「Decarbonization」と環境への配慮を意味する「Eco」を組み合わせた「デコ（Decarbonization+Eco）活」となりました。

○陸上輸送、海上運送におけるCO2削減【ユニ・チャーム株式会社】

衛生用品の大手メーカーであるユニ・チャーム株式会社は、他企業と共同して大型トラックを用いた陸送中心の現在の物流に、エネルギー効率のよい海上輸送も加える取り組みを進めています。また静岡県～福岡県の区間において鉄道による輸送も開始しています。従来のトラック等の車両による輸送よりもCO2排出が削減され、より環境負荷の少ない輸送へ転換しています。これらの取組を通じて、CO2排出量の61.8%削減やトラックドライバーの労働時間の短縮を実現しているとのこと。

<https://www.unicharm.co.jp/ja/company/news/2022/0511-02.html>

○エコアクションアプリ「イイことぐるぐる」【神戸市】

神戸市が行っているエコアクション応援アプリ「イイことぐるぐる」はアプリの利用者がエコにつながるアクションを実践するとポイントを取得でき、そのポイントをお買い物等で使用できる各社ポイントサービスと交換できる、というものです。例えば「洗剤等の詰め替えパックの回収」では利用者が詰め替えパックを協力店舗へ持参することでポイントが付与されます。他にも、電気・ガス使用量の報告やマイボトル利用、宅配便を専用ロッカーやコンビニ等

を利用して受け取る等のアクションでもポイントが付与されるそうです。

簡単にできるエコアクションでポイントが貯まって日々のお買い物がお得になれば、気軽にやってみよう、という気持ちになりますね。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a36643/kurashi/recycle/heat/iiguru-app.html>



※「イイことぐるぐるアプリ」でポイントがもらえるエコアクション

○富山県地産地消キャンペーン【富山】

こちらもポイントを利用したサービスになります。富山県では富山県食材の継続的な消費を促進するために、県内のスーパーや直売所等で県産品を購入するとポイントが獲得でき、ポイントを貯めて応募すると抽選で賞品が当たる、というプレゼントキャンペーンを行っています。賞品にはお米から肉魚野菜のほか、工芸品等も用意されており、お買い物の際に県産品を買えば、さらに賞品がもらえるとあれば、普段の買い物の選択肢に地元の物を選びやすくなりますね。こうした地産地消により輸送にかかるCO2排出量の削減につながりますし、地域経済の活性化にもつながるなどのメリットが期待されます。

<https://toyama-food.jp/>

今回は自分たちの生活に身近な物流やお買い物等に関係する暮らし方を3つ紹介しました。エコバッグやマイボトル等すでに実践している方が多いかと思いますが、これらの行動に何かしら得するような仕掛けがあると、やってみようと思う人が増えるかもしれません。

また、三島町でも三島町産会津地鶏キャンペーン等、地産地消に取り組んでいるかと思っています。こうした取組みに積極的に参加していきたいですね。

☎国立環境研究所福島地域協働研究拠点
地域環境創生研究室 ☎ 0247 (61) 6572

◆ 心配ごと相談（弁護士相談） ◆

9月27日㊥ 福祉センター
午前10時から午後3時まで

☎社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

愛ばんしょ外来からのお知らせ

三島町ケーブルテレビ 三島
通信で健康教室を放送中です。

9月のテーマは「鼻血のお話」
です。ぜひご覧ください。



☎福島県立宮下病院 ☎ (52) 2321

町からのお知らせ

ご寄附ありがとうございました（7月分）

ふるさと納税

寄附件数 20 件 計 267,000 円

9月分納税のご案内

【納期限 10月2日㊥】

- ▼ 国民健康保険税（普通徴収）（第3期）
- ▼ 介護保険料（普通徴収）（第3期）
- ▼ 後期高齢者保険料（普通徴収）（第2期）

忘れずに納付してください。

☎町民課 町民係 ☎ (48) 5555

お悔み申し上げます

小 柴 美代子 様 (86才・西 方)
佐 藤 村 夫 様 (91才・宮 下)

町の人口と世帯（8月1日現在）

人口	1,384	増 減 数	-2	出生	0
男	700		-3	死亡	4
女	684		1	転入	4
世帯	689		2	転出	2

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

社会福祉協議会より

大石田友遊サロン

9月4日㊥
(グラウンドゴルフ)
午前9時から
旧大石田分校校庭

10月2日㊥

午前10時から
大石田集会所

桧原はつつクラブ

9月5日㊥

午前10時から
桧原集会所

10月3日㊥

社会見学

ひまわりサロン

9月8日㊥

午前10時から
町民センター

浅岐あったかサロン

9月8日㊥

午前10時から
浅岐集会所

川井友愛サロン

9月11日㊥

午前10時から
川井集会所

大登サロン

9月11日㊥

午後1時30分から
大登生活改善センター

高清水・小山
いきいきサロン

9月12日㊥
午前10時から
高清水集会所

サロンなごみ

9月13日㊥

午前10時から
西方ふるさとセンター

間方いきいきクラブ

9月15日㊥

午前10時から
間方集会所

滝谷和楽塾

9月19日㊥

午前10時から
滝谷集会所

西方ほがらかサロン

9月25日㊥

午前10時から
森の校舎カタクリ

サロンないり

9月25日㊥
午前10時から
名入集会所



◆ 健康マージャンサロン ◆

9月14日㊥ / 9月28日㊥
福祉センター 午後1時30分から

町社会福祉協議会へのご寄附
(ご遺志によるもの)

小 柴 知 一 様 (西 方)
大 木 修 様 (宮 下)

宮下病院からのお知らせ

感染対策室からのお知らせ

宮下病院 感染対策室

新型コロナウイルス感染症が5類になり、感染対策が緩和されました。しかし、ウイルスの感染力に変わりはなく、発症の2日前から発症後10日間程度、他の人に感染させる可能性があります。感染時の隔離期間は発症から5日目までとなりましたが、感染を広げないためにも**10日目まではマスクを着用する**などの感染対策が重要です。また、ある研究で「初回で重症化した人は再感染でも重症化しやすい」と報告されています。

一人一人の感染対策、思いやりのある行動で大切な人を守ることを忘れないでください。

☎福島県立宮下病院 ☎ (52) 2321

消防署からのお知らせ

その一手が命をつなぐ

9月9日は「救急の日」

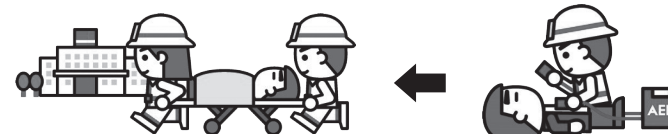
「あなたができること」

- ・心停止の予防
- ・けがの予防
- ・初期症状の気づき
- ・早期認識
- ・通報
- 一次救命処置
心肺蘇生・AED



「救急隊・医師へつなぐ」

二次救命処置と心拍再開後の集中治療



最寄りの消防署（出張所）にお問い合わせください。

☎会津坂下消防署 三島出張所
☎ (52) 3032 / FAX (52) 3033

会津坂下警察署からのお知らせ

子どもの車内放置は『虐待』です

炎天下の車内に子どもを放置する行為は児童虐待です。子どもは、身体の体温調節機能が未熟なこともあり、短時間でも重度の熱中症を発症し、命を失う可能性があります。

炎天下の車内の温度は、日中の気温上昇とともに急上昇し、少し窓を開けている程度では防ぐことはできません。「眠っているから」「すぐに戻るから」という安易な気持ちで子どもを乗せた車内から離れないようにしましょう。また、車内に放置された子どもを発見した場合には、すぐに110番通報してください。

～少年の非行防止～

夏休み期間に入り、少年の非行が増加傾向にあります。非行の内容としては、「深夜はいかい」「飲酒」「喫煙」が多く見られます。これらの非行は常習化しやすいことから子どもの生活習慣や所持品には十分に目を向けてあげてください。

また、肝試しとして廃墟などに侵入する行為は、建物の老朽化等による事故を招きかねない他、刑法の「建造物侵入罪」に抵触するおそれがあります。子どもの未来を守るためにも「廃墟であっても建物の所有者がいること」「老朽化した建物の危険性」を教えましょう。

☎会津坂下警察署警務係 ☎ 0242 (83) 3451

自衛官採用試験のお知らせ

募集種目	一般曹候補生
応募資格	日本国籍を有する18歳以上33歳未満の者 ※32歳の者は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない者
募集期間	【第3回】令和5年9月6日㊥～11月30日㊥ ※第1回と第2回の募集は終了しました。
試験科目	1次：筆記試験及び適性試験 2次：口述試験及び身体試験
試験日程	1次：令和5年12月9日㊥～14日㊥ 2次：令和6年1月6日㊥～14日㊥
合格発表	1次：令和5年12月22日㊥ 最終：令和6年1月29日㊥
入隊時期	令和6年3月下旬～4月上旬 ※上記の他に設定する場合があります。

☎応募先 / 問合せ 自衛隊福島地方協力本部会津若松出張所
会津若松市門田町大字黒岩字大坪 57-1
☎ 0242 (27) 6724

樹皮や蔓などの自然素材を材料につくられたバッグや箆など、生活の道具を会津管内の編み組細工の作り手さんから募集し、販売いたします。

当日は、会津のものづくり名人の実演もございますので、皆さまお誘いあわせのうえ、ぜひご来場ください。

会津の編み組工芸品展

第19回

「技」の継承と伝統・そして現在へ



令和5年

10月14日・15日

14日

午前9:30~午後4:00

(午前8:30から表彰式開催)

15日

午前9:00~午後3:00

町長日記

変動の時代を生きる

No. 03

昭和45年頃から、過疎化・高齢化社会への対応策が論じられはじめました。その政策課題の解決のために、町振興計画の作成や過疎計画の作成、そのほか様々な振興計画が立案されたのは、記憶に鮮明に残っています。

また、国は町振興計画の見える化を実現するために、過疎債や交付金や補助金を創設し、財政制度を充実させ、町を支援してきました。

確かに、人口減少社会や高齢化社会、過疎化社会に対して、町も国も非常に危機感を持っていたことが推察されます。

これまでも国や都道府県、市町村が過疎化や高齢化等の脱却に取り組んできましたが、なぜ、結果が出なかったのか、どれほどの財源を投入してきても人口が減少していくのか、よく考える必要があります。

また、昨今の異常気象による台風の大形化や大雪、豪雨が極

地的に降ることが頻繁に起こっています。

また、全世界を席巻した新型コロナウイルス感染症の第9波が日本においても危惧されているという報道があり、収束がつかない状況であります。

世界規模で起こる災害は、人間が富や幸を追い求め、地球上から様々な資源を収奪した結果ではないかと考える事がありますが、誰も確かなことを知るよしもありません。超高齢化社会は、食事による栄養の摂取と医学の進歩によるものだと思察されますが、過疎社会や少子社会への対策は、お金を投入したからといって結果がでるものではありません。

地域に生きるコミュニティの質の豊かさ等の哲学的な考えが、今、生涯教育には求められているのではないかと考えます。

三島町長 矢澤 源成